

日時：令和7年7月10日(木)18時30分から20時15分まで

場所：文京シビックセンター20階 教育委員会室

○文京区立中学校部活動地域移行実施計画 2026（素案）の文教委員会における報告

【事務局からの説明】

- ・明確な反対意見は無かったが、いくつかの課題点の指摘があった。

○「地域スポーツ・文化芸術創造と部活動改革に関する実行会議」最終とりまとめ 概要

【事務局からの説明】

- ・地域クラブの在り方・定義、地域展開、受益者負担等の要旨を説明。

【主な意見等】

- ・財源の確保はしっかりとやらなければならない。就学援助と同様に取り扱うのか。
- 一家庭の経済状況に関わらず、希望する生徒はすべて参加できるよう仕組みづくりを行っていく必要がある。

○「休日の合同部活動実施に向けた児童・生徒アンケート」の結果

【事務局からの説明】

- ・アンケートの結果からは、児童・生徒は現状からの変化をあまり望んでいないことが読み取れる。
- ・休日の合同部活動に期待することとしては、「競技力や技術の向上」が多かった。
- ・休日の合同部活動で心配なこととしては、「新しい仲間ができるかどうか」が多かった。
- ・新種目に関する項目では、運動部ではボウリングが、文化部ではeスポーツが一番人気であった。

【主な意見等】

- ・以前（令和6年1月実施）のアンケートでは、合同部活動はそれほどネガティブな印象ではないと思ったが、そこの比較はどのように分析しているか？
- 一そのときは合同部活動ではなく「地域移行」という聞き方だった。この言葉の違いが影響していると分析している。
- ・休日は休みたいと考えている児童・生徒が多いことが読み取れるが、活動に参加することでどんなメリットがあるのかを示したり、目的意識をもたせたりしていく取り組みが必要である。
 - ・保護者の協力も必要になるため、保護者の理解を得ていく必要がある。

○「文京区立中学校部活動地域連携・地域移行に係る合同部活動検討ワーキング・グループ

【事務局からの説明】

- ・ワーキング・グループに参加している教員から課題点の指摘などはあるが、部活動の地域展開について明確に反対している教員はいない。
- ・現場目線のさまざまな課題点や疑問点の指摘も出ているため、協議を重ねていく。

○「合同部活動の方向性」

【事務局からの説明】

- ・区の「実施計画 2026 の目標」は「休日における部活動の教員に頼らない指導体制の構築」であり、国のガイドラインに沿っている。

【主な意見等】

- ・教員は兼職兼業可能か。
 - ー 現状の合同部活動では兼業兼職とはならないが、地域クラブ化すると兼職兼業が可能となる。
- ・大会への参加はどうなるのか。
 - ー 中体連の動きも様子を見ていく必要があるが、結果的に大会に参加できなかったということは避けなければならない。
- ・今回は休日だけの活動のため、大会に参加することはないのか。大会に参加できないとすると参加する生徒はいないのではないか。
 - ー 中体連の大会は現行では難しいが、地域の大会などは出場ができる可能性はあると考えている。

(1) 協議事項 1 令和 8 年度から休日の活動の運営および指導者の派遣を外部委託し、すべての種目を地域クラブ活動とすることについて

- ・当初は教員が対応することを想定していたのか。
 - ー 認識のとおり。当初は一か所（拠点校）に集まって教員が合同部活動を指導することを想定していたが、アンケート結果にもあるとおり、子どもたちは「競技力や技術の向上」を期待していることを踏まえ、優れた指導者を持続可能な形で確保し生徒に提供していくことが、教員の負担軽減にも繋がるため、このような形が望ましいと考えた。
- ・アンケート結果から、休日は休みたいと考えている児童・生徒や、同じメンバーで活動したいと考えている児童・生徒が多い中で、休日のクラブ活動の参加人数は最初の段階ではかなり低く始まるのではないか。

(2) 協議事項 2 多様な休日の活動の形について

- ・ABC パターンがあるが、いきなり C パターンを始めると混乱が生じる可能性があるため、少しずつ進めていく方がよい。

(3) 新種目「ボウリング」の設置について

- ・アンケート結果からもよいのではないかな。

○シブヤ「部活動改革」プロジェクト

- ・渋谷区においてボウリングクラブを設置しているため、令和 7 年 6 月 28 日（土）に視察を実施。
- ・プロボウラーが指導。
- ・参加児童・生徒の技術は初心者レベルから上級者レベルまでが一緒に活動していた。
- ・参加生徒へのインタビューを実施。
 - Q1. ボウリングクラブへの入部理由は。
 - 誰かと勝負することが好きで、個人種目であるため。
 - Q2. 目標は何か。
 - 大会で上位入賞したい。みんなで楽しくやりたい。
 - Q3. 何が楽しいか。

他の人と勝負し、高め合えること。プロ選手から指導してもらえ、成長を感じられること。

Q4. 違う学校の生徒（児童）と一緒にやることへの不安はあるか。

初めはあったが、今は緊張感も和らいだ。飛び込んでしまえば楽しめた。

【主な意見等】

- ・アンケートの結果では一番多かったが、本当にやりたくて回答している数は低いと思われるため、実際の参加人数は少ないのではないか。